

次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

学際的な研究が学問の世界に閉じず、政治論争に至ってしまう。A¹ B² C³ D⁴ E⁵ F⁶ G⁷ H⁸ I⁹ J¹⁰ K¹¹ L¹² M¹³ N¹⁴ O¹⁵ P¹⁶ Q¹⁷ R¹⁸ S¹⁹ T²⁰ U²¹ V²² W²³ X²⁴ Y²⁵ Z²⁶ AA²⁷ AB²⁸ AC²⁹ AD³⁰ AE³¹ AF³² AG³³ AH³⁴ AI³⁵ AJ³⁶ AK³⁷ AL³⁸ AM³⁹ AN⁴⁰ AO⁴¹ AP⁴² AQ⁴³ AR⁴⁴ AS⁴⁵ AT⁴⁶ AU⁴⁷ AV⁴⁸ AW⁴⁹ AX⁵⁰ AY⁵¹ AZ⁵² BA⁵³ BB⁵⁴ BC⁵⁵ BD⁵⁶ BE⁵⁷ BF⁵⁸ BG⁵⁹ BH⁶⁰ BI⁶¹ BJ⁶² BK⁶³ BL⁶⁴ BM⁶⁵ BN⁶⁶ BO⁶⁷ BP⁶⁸ BQ⁶⁹ BR⁷⁰ BS⁷¹ BT⁷² BU⁷³ BV⁷⁴ BW⁷⁵ BX⁷⁶ BY⁷⁷ BZ⁷⁸ CA⁷⁹ CB⁸⁰ CC⁸¹ CD⁸² CE⁸³ CF⁸⁴ CG⁸⁵ CH⁸⁶ CI⁸⁷ CJ⁸⁸ CK⁸⁹ CL⁹⁰ CM⁹¹ CN⁹² CO⁹³ CP⁹⁴ CQ⁹⁵ CR⁹⁶ CS⁹⁷ CT⁹⁸ CU⁹⁹ CV¹⁰⁰ CW¹⁰¹ CX¹⁰² CY¹⁰³ CZ¹⁰⁴ DA¹⁰⁵ DB¹⁰⁶ DC¹⁰⁷ DD¹⁰⁸ DE¹⁰⁹ DF¹¹⁰ DG¹¹¹ DH¹¹² DI¹¹³ DJ¹¹⁴ DK¹¹⁵ DL¹¹⁶ DM¹¹⁷ DN¹¹⁸ DO¹¹⁹ DP¹²⁰ DQ¹²¹ DR¹²² DS¹²³ DT¹²⁴ DU¹²⁵ DV¹²⁶ DW¹²⁷ DX¹²⁸ DY¹²⁹ DZ¹³⁰ EA¹³¹ EB¹³² EC¹³³ ED¹³⁴ EE¹³⁵ EF¹³⁶ EG¹³⁷ EH¹³⁸ EI¹³⁹ EJ¹⁴⁰ EK¹⁴¹ EL¹⁴² EM¹⁴³ EN¹⁴⁴ EO¹⁴⁵ EP¹⁴⁶ EQ¹⁴⁷ ER¹⁴⁸ ES¹⁴⁹ ET¹⁵⁰ EU¹⁵¹ EV¹⁵² EW¹⁵³ EX¹⁵⁴ EY¹⁵⁵ EZ¹⁵⁶ FA¹⁵⁷ FB¹⁵⁸ FC¹⁵⁹ FD¹⁶⁰ FE¹⁶¹ FF¹⁶² FG¹⁶³ FH¹⁶⁴ FI¹⁶⁵ FJ¹⁶⁶ FK¹⁶⁷ FL¹⁶⁸ FM¹⁶⁹ FN¹⁷⁰ FO¹⁷¹ FP¹⁷² FQ¹⁷³ FR¹⁷⁴ FS¹⁷⁵ FT¹⁷⁶ FU¹⁷⁷ FV¹⁷⁸ FW¹⁷⁹ FX¹⁸⁰ FY¹⁸¹ FZ¹⁸² GA¹⁸³ GB¹⁸⁴ GC¹⁸⁵ GD¹⁸⁶ GE¹⁸⁷ GF¹⁸⁸ GG¹⁸⁹ GH¹⁹⁰ GI¹⁹¹ GJ¹⁹² GK¹⁹³ GL¹⁹⁴ GM¹⁹⁵ GN¹⁹⁶ GO¹⁹⁷ GP¹⁹⁸ GQ¹⁹⁹ GR²⁰⁰ GS²⁰¹ GT²⁰² GU²⁰³ GV²⁰⁴ GW²⁰⁵ GX²⁰⁶ GY²⁰⁷ GZ²⁰⁸ HA²⁰⁹ HB²¹⁰ HC²¹¹ HD²¹² HE²¹³ HF²¹⁴ HG²¹⁵ HH²¹⁶ HI²¹⁷ HJ²¹⁸ HK²¹⁹ HL²²⁰ HM²²¹ HN²²² HO²²³ HP²²⁴ HQ²²⁵ HR²²⁶ HS²²⁷ HT²²⁸ HU²²⁹ HV²³⁰ HW²³¹ HX²³² HY²³³ HZ²³⁴ IA²³⁵ IB²³⁶ IC²³⁷ ID²³⁸ IE²³⁹ IF²⁴⁰ IG²⁴¹ IH²⁴² II²⁴³ IJ²⁴⁴ IK²⁴⁵ IL²⁴⁶ IM²⁴⁷ IN²⁴⁸ IO²⁴⁹ IP²⁵⁰ IQ²⁵¹ IR²⁵² IS²⁵³ IT²⁵⁴ IU²⁵⁵ IV²⁵⁶ IW²⁵⁷ IX²⁵⁸ IY²⁵⁹ IZ²⁶⁰ JA²⁶¹ JB²⁶² JC²⁶³ JD²⁶⁴ JE²⁶⁵ JF²⁶⁶ JG²⁶⁷ JH²⁶⁸ JI²⁶⁹ JJ²⁷⁰ JK²⁷¹ JL²⁷² JM²⁷³ JN²⁷⁴ JO²⁷⁵ JP²⁷⁶ JQ²⁷⁷ JR²⁷⁸ JS²⁷⁹ JT²⁸⁰ JU²⁸¹ JV²⁸² JW²⁸³ JX²⁸⁴ JY²⁸⁵ JZ²⁸⁶ KA²⁸⁷ KB²⁸⁸ KC²⁸⁹ KD²⁹⁰ KE²⁹¹ KF²⁹² KG²⁹³ KH²⁹⁴ KI²⁹⁵ KJ²⁹⁶ KK²⁹⁷ KL²⁹⁸ KM²⁹⁹ KN³⁰⁰ KO³⁰¹ KP³⁰² KQ³⁰³ KR³⁰⁴ KS³⁰⁵ KT³⁰⁶ KU³⁰⁷ KV³⁰⁸ KW³⁰⁹ KX³¹⁰ KY³¹¹ KZ³¹² LA³¹³ LB³¹⁴ LC³¹⁵ LD³¹⁶ LE³¹⁷ LF³¹⁸ LG³¹⁹ LH³²⁰ LI³²¹ LJ³²² LK³²³ LL³²⁴ LM³²⁵ LN³²⁶ LO³²⁷ LP³²⁸ LQ³²⁹ LR³³⁰ LS³³¹ LT³³² LU³³³ LV³³⁴ LW³³⁵ LX³³⁶ LY³³⁷ LZ³³⁸ MA³³⁹ MB³⁴⁰ MC³⁴¹ MD³⁴² ME³⁴³ MF³⁴⁴ MG³⁴⁵ MH³⁴⁶ MI³⁴⁷ MJ³⁴⁸ MK³⁴⁹ ML³⁵⁰ MM³⁵¹ MN³⁵² MO³⁵³ MP³⁵⁴ MQ³⁵⁵ MR³⁵⁶ MS³⁵⁷ MT³⁵⁸ MU³⁵⁹ MV³⁶⁰ MW³⁶¹ MX³⁶² MY³⁶³ MZ³⁶⁴ NA³⁶⁵ NB³⁶⁶ NC³⁶⁷ ND³⁶⁸ NE³⁶⁹ NF³⁷⁰ NG³⁷¹ NH³⁷² NI³⁷³ NJ³⁷⁴ NK³⁷⁵ NL³⁷⁶ NM³⁷⁷ NN³⁷⁸ NO³⁷⁹ NP³⁸⁰ NQ³⁸¹ NR³⁸² NS³⁸³ NT³⁸⁴ NU³⁸⁵ NV³⁸⁶ NW³⁸⁷ NX³⁸⁸ NY³⁸⁹ NZ³⁹⁰ OA³⁹¹ OB³⁹² OC³⁹³ OD³⁹⁴ OE³⁹⁵ OF³⁹⁶ OG³⁹⁷ OH³⁹⁸ OI³⁹⁹ OJ⁴⁰⁰ OK⁴⁰¹ OL⁴⁰² OM⁴⁰³ ON⁴⁰⁴ OO⁴⁰⁵ OP⁴⁰⁶ OQ⁴⁰⁷ OR⁴⁰⁸ OS⁴⁰⁹ OT⁴¹⁰ OU⁴¹¹ OV⁴¹² OW⁴¹³ OX⁴¹⁴ OY⁴¹⁵ OZ⁴¹⁶ PA⁴¹⁷ PB⁴¹⁸ PC⁴¹⁹ PD⁴²⁰ PE⁴²¹ PF⁴²² PG⁴²³ PH⁴²⁴ PI⁴²⁵ PJ⁴²⁶ PK⁴²⁷ PL⁴²⁸ PM⁴²⁹ PN⁴³⁰ PO⁴³¹ PP⁴³² PQ⁴³³ PR⁴³⁴ PS⁴³⁵ PT⁴³⁶ PU⁴³⁷ PV⁴³⁸ PW⁴³⁹ PX⁴⁴⁰ PY⁴⁴¹ PZ⁴⁴² QA⁴⁴³ QB⁴⁴⁴ QC⁴⁴⁵ QD⁴⁴⁶ QE⁴⁴⁷ QF⁴⁴⁸ QG⁴⁴⁹ QH⁴⁵⁰ QI⁴⁵¹ QJ⁴⁵² QK⁴⁵³ QL⁴⁵⁴ QM⁴⁵⁵ QN⁴⁵⁶ QO⁴⁵⁷ QP⁴⁵⁸ QQ⁴⁵⁹ QR⁴⁶⁰ QS⁴⁶¹ QT⁴⁶² QU⁴⁶³ QV⁴⁶⁴ QW⁴⁶⁵ QX⁴⁶⁶ QY⁴⁶⁷ QZ⁴⁶⁸ RA⁴⁶⁹ RB⁴⁷⁰ RC⁴⁷¹ RD⁴⁷² RE⁴⁷³ RF⁴⁷⁴ RG⁴⁷⁵ RH⁴⁷⁶ RI⁴⁷⁷ RJ⁴⁷⁸ RK⁴⁷⁹ RL⁴⁸⁰ RM⁴⁸¹ RN⁴⁸² RO⁴⁸³ RP⁴⁸⁴ RQ⁴⁸⁵ RR⁴⁸⁶ RS⁴⁸⁷ RT⁴⁸⁸ RU⁴⁸⁹ RV⁴⁹⁰ RW⁴⁹¹ RX⁴⁹² RY⁴⁹³ RZ⁴⁹⁴ SA⁴⁹⁵ SB⁴⁹⁶ SC⁴⁹⁷ SD⁴⁹⁸ SE⁴⁹⁹ SF⁵⁰⁰ SG⁵⁰¹ SH⁵⁰² SI⁵⁰³ SJ⁵⁰⁴ SK⁵⁰⁵ SL⁵⁰⁶ SM⁵⁰⁷ SN⁵⁰⁸ SO⁵⁰⁹ SP⁵¹⁰ SQ⁵¹¹ SR⁵¹² SS⁵¹³ ST⁵¹⁴ SU⁵¹⁵ SV⁵¹⁶ SW⁵¹⁷ SX⁵¹⁸ SY⁵¹⁹ SZ⁵²⁰ TA⁵²¹ TB⁵²² TC⁵²³ TD⁵²⁴ TE⁵²⁵ TF⁵²⁶ TG⁵²⁷ TH⁵²⁸ TI⁵²⁹ TJ⁵³⁰ TK⁵³¹ TL⁵³² TM⁵³³ TN⁵³⁴ TO⁵³⁵ TP⁵³⁶ TQ⁵³⁷ TR⁵³⁸ TS⁵³⁹ TT⁵⁴⁰ TU⁵⁴¹ TV⁵⁴² TW⁵⁴³ TX⁵⁴⁴ TY⁵⁴⁵ TZ⁵⁴⁶ UA⁵⁴⁷ UB⁵⁴⁸ UC⁵⁴⁹ UD⁵⁵⁰ UE⁵⁵¹ UF⁵⁵² UG⁵⁵³ UH⁵⁵⁴ UI⁵⁵⁵ UJ⁵⁵⁶ UK⁵⁵⁷ UL⁵⁵⁸ UM⁵⁵⁹ UN⁵⁶⁰ UO⁵⁶¹ UP⁵⁶² UQ⁵⁶³ UR⁵⁶⁴ US⁵⁶⁵ UT⁵⁶⁶ UY⁵⁶⁷ UV⁵⁶⁸ UW⁵⁶⁹ UX⁵⁷⁰ UZ⁵⁷¹ VA⁵⁷² VB⁵⁷³ VC⁵⁷⁴ VD⁵⁷⁵ VE⁵⁷⁶ VF⁵⁷⁷ VG⁵⁷⁸ VH⁵⁷⁹ VI⁵⁸⁰ VJ⁵⁸¹ VK⁵⁸² VL⁵⁸³ VM⁵⁸⁴ VN⁵⁸⁵ VO⁵⁸⁶ VP⁵⁸⁷ VQ⁵⁸⁸ VR⁵⁸⁹ VS⁵⁹⁰ VT⁵⁹¹ VU⁵⁹² VV⁵⁹³ VW⁵⁹⁴ VX⁵⁹⁵ VY⁵⁹⁶ VZ⁵⁹⁷ WA⁵⁹⁸ WB⁵⁹⁹ WC⁶⁰⁰ WD⁶⁰¹ WE⁶⁰² WF⁶⁰³ WG⁶⁰⁴ WH⁶⁰⁵ WI⁶⁰⁶ WJ⁶⁰⁷ WK⁶⁰⁸ WL⁶⁰⁹ WM⁶¹⁰ WN⁶¹¹ WO⁶¹² WP⁶¹³ WQ⁶¹⁴ WR⁶¹⁵ WS⁶¹⁶ WT⁶¹⁷ WU⁶¹⁸ WV⁶¹⁹ WW⁶²⁰ WX⁶²¹ WY⁶²² WZ⁶²³ XA⁶²⁴ XB⁶²⁵ XC⁶²⁶ XD⁶²⁷ XE⁶²⁸ XF⁶²⁹ XG⁶³⁰ XH⁶³¹ XI⁶³² XJ⁶³³ XK⁶³⁴ XL⁶³⁵ XM⁶³⁶ XN⁶³⁷ XO⁶³⁸ XP⁶³⁹ XQ⁶⁴⁰ XR⁶⁴¹ XS⁶⁴² XT⁶⁴³ XU⁶⁴⁴ XV⁶⁴⁵ XW⁶⁴⁶ XX⁶⁴⁷ XY⁶⁴⁸ XZ⁶⁴⁹ YA⁶⁵⁰ YB⁶⁵¹ YC⁶⁵² YD⁶⁵³ YE⁶⁵⁴ YF⁶⁵⁵ YG⁶⁵⁶ YH⁶⁵⁷ YI⁶⁵⁸ YJ⁶⁵⁹ YK⁶⁶⁰ YL⁶⁶¹ YM⁶⁶² YN⁶⁶³ YO⁶⁶⁴ YP⁶⁶⁵ YQ⁶⁶⁶ YR⁶⁶⁷ YS⁶⁶⁸ YT⁶⁶⁹ YU⁶⁷⁰ YV⁶⁷¹ YW⁶⁷² YX⁶⁷³ YZ⁶⁷⁴ ZA⁶⁷⁵ ZB⁶⁷⁶ ZC⁶⁷⁷ ZD⁶⁷⁸ ZE⁶⁷⁹ ZF⁶⁸⁰ ZG⁶⁸¹ ZH⁶⁸² ZI⁶⁸³ ZJ⁶⁸⁴ ZK⁶⁸⁵ ZL⁶⁸⁶ ZM⁶⁸⁷ ZN⁶⁸⁸ ZO⁶⁸⁹ ZP⁶⁹⁰ ZQ⁶⁹¹ ZR⁶⁹² ZS⁶⁹³ ZT⁶⁹⁴ ZU⁶⁹⁵ ZV⁶⁹⁶ ZW⁶⁹⁷ ZX⁶⁹⁸ ZY⁶⁹⁹ ZZ⁷⁰⁰

第二に、多くの人に関わるのに、そうした複雑な問題を扱う研究は、まさに複雑であるがゆえに、はっきりと物事に白黒を付ける答えは出せません。ゆえに、対立が継続してしまいます。これは、人文社会科学だけではなく、自然科学的な方法論が使われている場合でもさほど変わりません。

自然科学と社会の双方が関わる複雑な問題は、それが切迫した主題であるほど、自然科学をもってしても、明確な答えがすぐに出せない場合が多いのです。たとえば、公害による健康リスクのように、時間をかけて（あるいは人体実験により）検証すれば答えが出るかもしれないが、社会的にそれは困難であるというような場合があります。もしくは倫理的な問題のように、もともと科学では答えが求められない性質の問いを含んでいる場合もあります。

特に関心の社会問題が関わる場合、時間の問題は重要な要素です。たとえば地球温暖化の場合は、「予測の正しさが証明されたときには相当なギセイ者が出てしまう」というイジレンマが存在します。そのため、研究が導く解答が確実だとは言いつても、「どうすべきか」という意思決定にコウケンすることが期待されます。科学的に確定が困難な要素を含む問題だが、「今現在」社会的合意が必要となってしまうのです。

地球温暖化問題においては、問題が起きる前に手を打つ「予防原則」の立場から、気候変動枠組条約やCO2削減といった様々な政策的措置が動きだしました。結果として、反対する人は「科学的な結論が不確定なうちに政治が動きだした」との印象を抱き、研究の不備や政治的偏向を主張したりして論争が続くことになったのです。

このような状況を否定的に捉えて、政治論争が起きるような学問はまともでない、政治的中立性がないとの結論に飛んでいく人もいます。あるいはその逆で、科学的な検証を行って出した答えに反対する人がいるなんて信じられない、理性的ではないと叩く人もいます。

D 私自身は、論争の存在自体を肯定的に捉える立場です。それも、一歩踏み込んで、ある学問が人間社会に関わる切実な対象を扱うほどに、その学術的な論争と、政治的論争との間の境目が不明確になっていくのはやむをえないし、だからこそ論争が必要だと思っています。それは、E 人間の認識能力の不完全さと、対象の複雑さが合わさったとき、何らかの政治性が生まれてしまうことは避けがたいと考えているからでもあります（なお私は、「政治的であること」と「党派的事であること」を区別しています。前者は「市民生活においてどの価値を優先するか」ということ、後者は「誰の味方か」という人間関係的な側面のことです）。

環境科学の例が示すように、どんな学問分野をもってしても、完全に世界を認識し、記述できるシステムはありません。もしそんなシステムがあるとしたら、それはこの世界そのものに他ならないでしょう。それ以外のものは、どれだけ確かな方法をクシしたとしても、不完全なものでしかありえません。何らかの形で、必ず情報が欠落しているのです。どの情報を減らすかは各分野の選択であり、F それは一種の価値観の反映でもあります。

そのため、複雑な系、たとえば経済活動のような人間社会の営みや、自然界であつても気象現象のような複雑な対象の予測はしばしば当たりません。すると、研究結果の導く結論をめぐる、対立する意見が不可避に生じることになります。特にそれが、経済政策や環境政策のように、何らかの具体的なアクションを想定している場合はなおさらです。複雑な系を扱うがゆえの不確実性も政治を呼ぶのです。

そのことに加えて、そもそも、ある社会的課題を扱う／扱わない、という選択自体が、既に一定の政治性を帯びています。研究に、カンヨする研究者がどれだけ誠実に、理性的に、学問の基準に則して行動しようとも、あるテーマを選ぶというその行為自体は、社会における何らかの立場表明としての意味を持つのです。このことに、人文社会系、理工医系の差はほとんどありません。

たとえば、「適切な多数決投票の方法を数学的に検証する」のようなテーマを研究したい経済学者がいるとしましょう。一見、特別な政治性は感じないかもしれませんが、独裁政権の支配する国であれば、「国民による多数決を行う政体を想定している」ために警戒されるかもしれません。

それは独裁政権がおかしいだけではないかという話ではなく、ここで言いたいのは、少なくともそのようなテーマが彼らにとつては全く「中立」に映らないだろうということ です。もし私たちがとつてその主題が「中立的」に見えるとしたら、それは私たちが「民主主義は当然のこと」という価値観が普及した地域において、他の価値観をさほど想定せずに済んでいるからです。

理系が関わる例でも事情は変わりません。一九七〇年代〜八〇年代の日本では、環境問題を研究テーマに選ぶ理系学生は民間企業での就職が大変になると言われていました。マジヨリティが環境問題に関心がなくなった時代、あえて環境に関心を持つことは「偏ったこと」と見なされかねなかったのです。H現代ならこの感覚はむしろ逆でしょう。

問 二重傍線部 a〜e を、それぞれ漢字に直せ。 知

答 a 背景 b 犠牲 c 貢献 d 駆使 e 関与 (干与)

問 二重傍線部イの意味として最も適当なものを、次から選べ。 知

- ① 極端な二つの事例を前にして迷うこと
- ② 対立する二つの主張を両方生かすこと
- ③ 相反する二つの事柄の板挟みになること
- ④ 多くの意見を集約して一つにすること
- ⑤ 選択肢が二つしかなくて困ること

答 ③

問 二重傍線部ロと対照的な意味を表す語を、本文中から二字で抜き出せ。 知

答 中立

問 傍線部 A とは何か。それぞれ三十文字以上四十文字以内でまとめよ。 思

答 ・研究分野が社会の中にある複雑な課題を扱っているため、人々の関心をひきつけること。(40字)

次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

一九七〇年代～八〇年代の日本では、環境問題を研究テーマに選ぶ理系学生は民間企業での就職が大変になると言われていました。イマジオリティが環境問題に関心がなかった時代、あえて環境に関心を持つことは「偏ったこと」と見なされかねなかったのです。現代ならこの感覚はむしろ逆でしょう。

「地球環境を気にかけること」も「民主主義を自明視すること」も、それぞれ一つの価値観であり、政治的信念の一種です。ただ、その価値観がマジョリティにとって一般的になっている時代、地域では「そのこと」が目立たないだけです。

もちろん、「テーマの選択が政治性を持つ」ことは仕方ないにしても、それは研究の過程に政治性が入り込むこととは違うのではないか、という指摘は可能です。

たとえば、公害問題や、歴史上の虐殺事件といった問題に対し、ある組織や人物にとって不利になる証拠を隠蔽したうえで論文を書いたとしたら、それは「政治的」かつ「党派的」なデータの隠蔽ですし、研究不正に等しい行いです。

論争になりやすいのは逆のケース、すなわち証拠として用いる材料を広げる場合です。たとえば、教育を受けた役所の人間が残した文書記録や、定量的に計測可能な証拠といった従来も用いられていた判断材料だけではなく、コンピュータによるシミュレーションなど、確実さにおいて劣る要素を持ち込む場合、前者は「実証的」だが「後者は違う」として、拒否されることがあります。そして、そのような不確かなものを研究の材料に使うのは、政治的な意図があるからだと糾弾されたりするのです。

事例ごとに事情は違うので、一般化は困難なのですが、科学史を踏まえて私が思うのは、どちらかと言えば、検証する対象を増やす方が、検証の厳密さを求めてそれを避けるよりは実りが多いのではないかと思います。先の例で言えば、地球温暖化問題が最初に話題になったときには、それがシミュレーションに基づく推論であることが問題視されましたが、現在はそうした手法が科学的推論の一つとして認知されています。

以上のことを踏まえるならば、むしろ、「複雑な対象を前にして、価値中立を掲げることが持ちうる政治性」こそが念頭に置かれなければなりません。すなわち、マジョリティの価値観に浸っているために自らの政治性が自覚できていない状態のことを、「中立」という名で呼び換えていないかどうかを、改めて問い直す必要があるでしょう。

それに加えて、人間の理性の限界という問題もあります。実際、本人は真剣に研究をしている場合でも、「無意識のバイアス」で、ある証拠を完全に見逃し、自分の論点を支持する証拠ばかり集めるということがありうるからです。十九世紀において、女性の知性が男性に劣るとの見解を出したいくつかの研究には、明らかに「このような傾向が見られました」。

同時に言えるのは、「学問は現実の対象に近づくほど不可避の政治性を帯びる」ということを踏まえて、それでも学問的方法論に根ざして言葉を紡ぐことの大切さです。物理学のような法則定立的な方法にしる、歴史学のような個性記述的な方法にしる、定量的な社会学のようにその中間的なものにしる、それは世界

を認識する異なったやり方として、数世代にわたり様々なテストを生き残り、受け継がれてきた人類の遺産なのです。

私たちはバイアスのかかったやり方でしか世の中を見ることはできませんが、諸分野の方法というのは、地域や文化を超えて人々が選び取ってきた、いわば、^D体系的のあるバイアスです。体系的なやり方で、違^Eう風景を見て、それを継ぎ合わせる。または違^Eう主張を行いながらも、それを多声音楽のように不協和音も込みで重ね合わせていく。そのことにこそ、^E様々な分野が存在する本当の意義があるのではないのでしょうか。

問 二重傍線部イの意味として最も適当なものを、次から選べ。知

- ① 権力者 ② 多数派 ③ 国民 ④ 当事者 ⑤ 学生

問 二重傍線部ロと同じ意味を持つ語を、本文中から四字で抜き出せ。知

答 バイアス

問 傍線部Aは何を指すか。四十字以内で答えよ。思

答 一見すると中立に思えるテーマも、一つの価値観であり政治的信念の一種であること。(39字)

問 傍線部Bとあるが、「後者は違^Eう」とされるのはなぜか。最も適当なものを、次から選べ。思

ア コンピュータによるシミュレーションは、文書記録などと違って、政治的意図が入り込むと予測の精度が下がってしまう手法だと思われるから。

イ 定量的に計測可能な証拠は、これまで一般的に使用されてきたものの、結果が出るまでに時間がかかるため、切迫した課題には不向きだと言えるから。

ウ コンピュータによるシミュレーションは、しばしば特定の人物や組織に有利な結果をもたらす目的で利用されてきたため、不信感を持たれているから。

エ 定量的に計測可能な証拠は、以前から用いられてきた古典的な判断材料であるため、獨創性に欠ける点で検証する価値がないと考えられているから。

オ コンピュータによるシミュレーションは、模擬的な実験をもとに行う推論であるため、事実に基づかない点で確実さに欠けると判断されているから。

答 オ

問 傍線部Cとは、どのような傾向か。「〜という傾向。」につながる形で、適当な語句を本文中から四十字以内で抜き出せ。思

答 無意識のバイアスで、ある証拠を完全に見逃し、自分の論点を支持する証拠ばかり集める(という傾向。)(40字)

問 傍線部Dの説明として最も適当なものを、次から選べ。思

ア 多くの研究者が、自身の研究仮説を支持する証拠ばかり集め、そうでない証拠を見逃すという過程を無意識に繰り返すことで生まれた、学問的知識の総体。

イ 人間の理性が不完全である以上、一定の政治性を帯びてはいるが、多様な政治的価値観の対立の中で妥協点を探りながら生き残ってきた、人類の知の遺

産。

ウ 人間の認識である以上避けられない偏りを含んではいるが、多くの人々が長い時間をかけて学問的努力を積み重ねることで生まれる、文化横断的な知的遺産。

エ 自然科学も社会科学も含む多くの分野の研究者が対話を重ね、地域や文化を超えて人々がその成果を選び取る中で客観性と中立性を獲得した、科学的知の結晶。

オ 科学の方法上の限界と人間の理性の不完全さのために多少の偏りは含んでいるが、政治的な観点ではあらゆる党派から独立した体系性を獲得した、学問的知の総体。

【答】
ウ

問 次に示すのは、学問と政治の関係について論じた文章である。本文の内容を踏まえて、この文章に対する自分の意見を四百字以内で述べよ。【主】

学問も政治も、その目的を尋ねれば、ともに一国の幸福を増進せんとするものより外ならずといえども、学問は政治に非ずして、学者は政治家に異なり。けだしその異なるゆえんは何ぞや。学者の事は社会今日の実際に遠くして、政治家の働は日常人事の衝にあたるものなればなり。これをたとえば、一国はな
お一人の身体の如くにして、学者と政治家と相ともにこれを守り、政治家は病にあたりて治療に力を用い、学者は平生の摂生法を授くる者の如し。開闢以来
今にいたるまで、智徳ともに不完全なる人間社会は、一人の身体いづれの部分か必ず痛所あるものに異ならず。治療に任ずる政治家の繁忙なる、もとより
知るべし。然るに学者が平生より養生の法を説きて社会を警むることあれば、あるいはその病を未発に防ぎ、あるいはたとひ発病に及ぶも、大病にいたらず
して癒るを得べし。すなわち間接の働にして、学問の力もまた大なりというべし。

『学問の独立』福沢諭吉

【答】(略)

次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

今や我々は、「科学はニュートラルな道具」であり、ゆえに「科学技術のもたらす影響はその使い次第」であって「科学そのものに責任はない」、というような理解はもうやめるべきではないか。現代の科学研究は、その規模が大きくなればなるほど、国家や市場、産業界の動向と深く結びついた開発プロジェクトとなっている。もはや科学はまったくニュートラルなもの、中立的なものではない。

原子力の研究者で小出裕章氏という人物がいる。小出氏は研究の過程で原子力の危険性を認識し、原発の廃絶のための研究に転じていった。ただし、そのために小出氏は、大学内での地位としては最後まで助教のままに留まり、ついに定年を迎えることになった。小出氏は、原子力研究を行ったがゆえにわかった危険性に向き合い、それを科学的にきちんと処理していくために、原発をスクラップにするための科学研究、いわば「反科学的な科学研究」に取り組んだのである。そこには、「原子力の研究はいつたい誰のためのものなのか？」という問いがあったことだろう。

^A同様のことは、原子力についてだけでなく、広く自然科学系の学問、生命科学においても起こり得る可能性がある。「学問の自由」はもちろん大切なことだが、その自由の中で、研究者個人のボン・サンス (bon sens)、すなわち良識というものがやはり問われてくると思う。科学は善なるものだと言信して「進歩を止めるな」とばかりに新たな研究に邁進していくだけではなく、時には科学技術が社会にどのような影響を与えていくのかを社会的に議論し、そのリスクなどを皆が理解したうえで、研究を進めるかどうか決めていくことが必要である。

もちろん、科学技術は I であるため、科学研究の最前線と一般の人々の理解との間にはギャップが生じるだろう。そのギャップを埋めていくうえで、実は人文社会科学系の知識が重要になる。人文社会科学系に属する科学史や科学社会学、生命倫理や技術倫理といった分野には、科学の最新研究やプロジェクトからは距離を取り、対象化してその危険性や問題点について批判的に検討する知の蓄積があるからだ。

〔学問は誰のためのものなのか〕姜尚中

問 傍線部 A とは、どのようなことか。五十文字以内で説明せよ。思

答 科学研究でわかった危険性に向き合い、それを科学的に処理するために、反科学的な科学研究に取り組むこと。(50字)

問 空欄 I に入る四字熟語として最も適当なものを、次から選べ。思

- ア 日進月歩 イ 玉石混淆 ウ 旧態依然 エ 温故知新 オ 広大無辺

答 ア

問 本文は、科学の社会的立場について論じた文章である。本文の趣旨について、《学問の政治性》の内容を踏まえた説明として最も適当なものを、次から選べ。

ア 現代の科学研究は、規模が大きくなるにつれて政治性が入り込み、中立的とは言いがたいため、科学は善という価値観をむやみに信じるのではなく、その研究が社会に及ぼす影響を諸分野の視点から批判的に検討し、議論を重ねつつ今後の方向性を考えるのがよい。

イ 最先端の技術が求められる科学研究においては、科学者と一般の人々の理解に乖離かいりが生じやすいため、一般の人々にもわかりやすい人文社会科学系の知識を使って対象を批判的に検討したうえで、科学者の考えは正しいという固定観念にとらわれずに、研究の適否を調べるのがよい。

ウ 科学はニュートラルな道具であるという考えは、論争の引き金となりやすいため、進歩を目指して新たな研究を進めるばかりでなく、一度立ち止まって価値中立を掲げることの政治性を自覚し、各分野の研究者が持つ独自の価値観を一つ一つ検証していくのがよい。

エ 科学そのものに責任はないという考え方は誤解を生みやすく、ニュートラルなものとは言えないので、学問の自由という言葉に必要以上に縛られることなく、科学が社会にとって本当に必要なのか、国家や市場や産業界の持つ知見を生かして判断するのがよい。

オ 科学研究においては無意識のバイアスがかかりやすく、政治的中立性が保てているとは言いがたいため、科学技術は使い方次第で人類を進歩させるといった多数派の価値観を疑い、科学者自らが一般の人々とも議論しながら、研究を批判的に検討していくのがよい。

答